

貝藻くんNEWS

営2019-070

海洋建設株式会社

創刊号

2020年1月



全国各地での貝藻くんの成果に関する最新事例を報告します。

愛媛県伊方町の事例

【調査DATA】

- 調査日 2019年4月24日
- 水深 4m
- 水温 15℃
- 経過年月 沈設後 3年6ヶ月経過
- 事業種類 水産多面的機能発揮対策

クロメが繁茂し、
アワビやサザエが集まっていた！！



2015年10月にクロメの母藻を取り付けて湾内に設置された貝藻くんプラスでは、母藻由来と考えられるクロメやホンダワラ類がつき、クロアワビやサザエ、カサゴなどが集まっている様子が確認されました。



クロメやホンダワラ類が繁茂



クロアワビ



サザエ



カサゴ

山形県鶴岡市の事例

漁港内に設置し、稚ナマコを放流！！

【調査DATA】

- 調査日 2018年12月
- 経過年月 沈設後 4ヶ月経過
- 事業種類 水産多面的機能発揮対策



2018年8月に漁港内に貝藻くんが設置され、稚ナマコ500個体の放流が行われました。12月に実施した調査では、貝藻くに付着するマナマコが確認され、アワビやサザエ、魚類が集まっている様子も見られました。



ネットを被せて稚ナマコを放流



貝藻くに付着するマナマコ



▲アワビ類



▲大型のマナマコ

石川県輪島市の事例

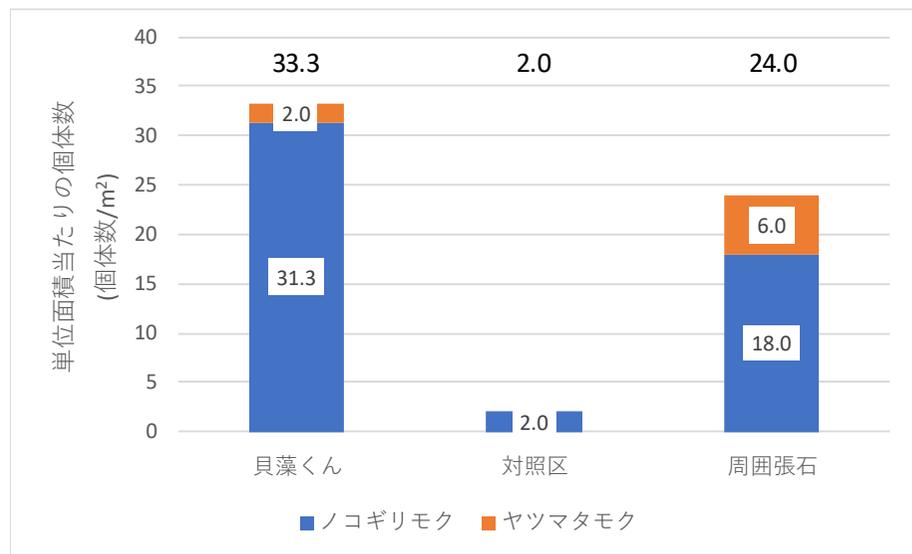
ホンダワラ類が繁茂し、
マナマコやサザエも集まっていた！！

【調査DATA】

- 調査日 2019年5月29日
- 水深 5m
- 水温 18℃
- 経過年月 沈設後 4年9ヶ月経過
- 事業種類 イメージアップ工事



2014年8月に輪島港内に設置された貝藻くんには、ノコギリモクやヤツマタモクなどのホンダワラ類が繁茂し、サザエが集まる様子、夏眠するマナマコの様子も見る事ができました。



単位面積当たりの海藻類着生個体数の比較

貝藻くんには、周囲よりも密度高く海藻が着生していた



ホンダワラ類が繁茂



マナマコ



サザエ

島根県益田市の事例

種糸のクロメが順調に生長、アワビ、ナマコも！！

【調査DATA】

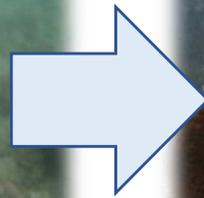
- 調査日 2019年7月25日
- 水深 1~2m
- 経過年月 沈設後 2年11ヶ月経過
- 事業種類 水産多面的機能発揮対策



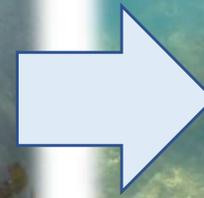
2018年11月にクロメの種糸を取り付けて漁港内に設置された貝藻くんでは、種糸のクロメが順調に生長し、完全に成熟した母藻となり繁茂していました。また、アワビ類やサザエ、マナマコなどの磯根資源も集まる様子が確認されました。



設置直後



設置1年後



設置1年8カ月後



クロアワビ



マナマコ



サザエ

福井県敦賀市の事例

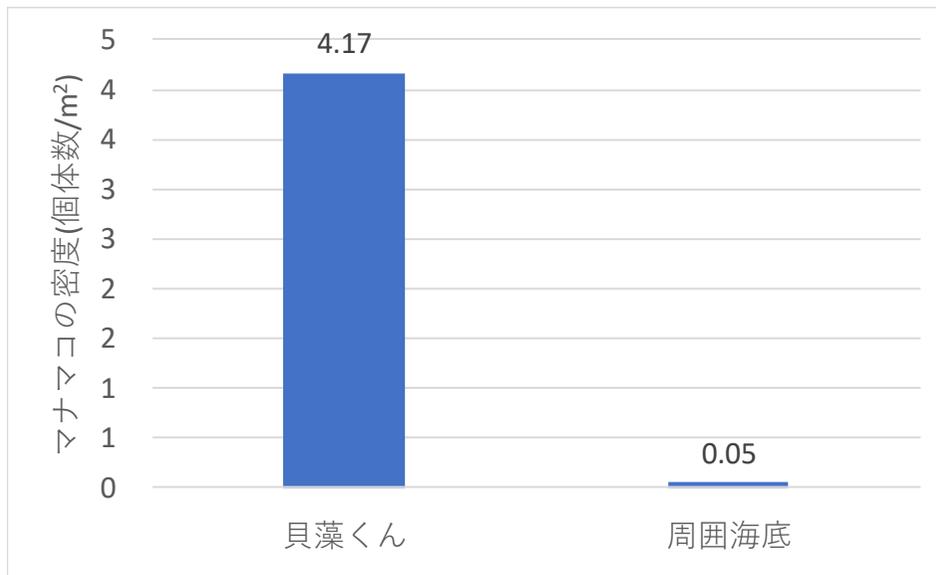
マナマコが高密度で分布、稚ダコも確認！！

【調査DATA】

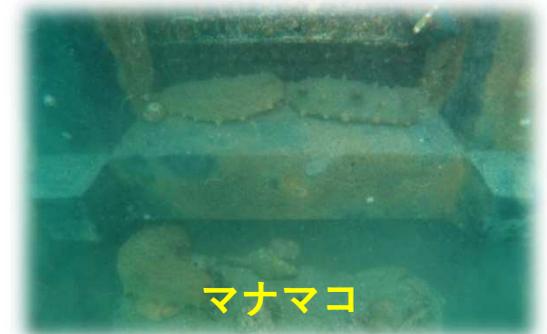
- 調査日 2019年4月25日
- 水深 2.6~2.8m
- 経過年月 沈設後 2年11ヶ月経過
- 事業種類 敦賀市単費事業



2016年5月に敦賀湾内の静穏なアマモ場付近に設置された貝藻くんには、密度高くマナマコが分布しており、また貝殻ケースの内部からは稚ダコや餌となる小型のエビ類などが多く見られました。



マナマコの分布密度の比較



大阪府大阪市の事例

マダコの産卵を確認！！

【調査DATA】

- ・調査日 2019年9月26日
- ・水深 14m
- ・水温 24℃
- ・経過年月 沈設後 7ヶ月経過
- ・事業種類 イメージアップ工事



2019年2月に大阪湾内に造成されたマウンド上に設置された貝藻くん（タコツボ付き）では、装着されたタコツボ内で抱卵しているマダコやカサゴ、キジハタなど様々な魚介類が集まる様子が確認されました。



マダコ



卵をしっかり守っていた



カサゴ

マダコの抱卵数と貝藻くんの利用率

調査年月 (経過年月)	マダコ (個体数)	抱卵	利用跡	利用基数	基数	利用率(%)
2019年9月 (7カ月後)	4	3	6	10	17	59%

※利用率=利用基数/基数×100

【確認された魚介類】

- ・カサゴ
- ・マダイ
- ・キジハタ
- ・ハゼ類
- ・クロダイ
- ・マダコ

広島県呉市の事例

キジハタやカサゴの幼魚が隠れ場として利用！！

【調査DATA】

- 調査日 2019年11月5日
- 水深 4~7m
- 経過年月 設後 1年1ヶ月経過
- 事業種類 呉市単費事業



2018年10月に設置された貝藻くんには、全長3~7cmのキジハタ、カサゴの幼魚が貝殻ケース内に潜入する様子が見られ、表面にはホンダワラ類の幼体がついていました。また引き上げた貝藻くんからも、キジハタやカサゴが確認されました。



貝藻くん内部に隠れていたキジハタ幼魚（全長3.5cm）



カサゴ



ホンダワラ類の幼体



キジハタ



引き上げた貝藻くんから確認された魚介類

長崎県対馬市の事例

クエ・カサゴ放流種苗の隠れ場に！！

【調査DATA】

- 調査日 2019年3月27日
- 水深 3~5m
- 経過年月 沈設後 1~3年経過
- 事業種類 離島漁業再生支援交付金



対馬市美津島町の高浜漁港では、2014年度より継続して貝藻くんが設置されています。桟橋周辺に設置された貝藻くんは、漁港内で放流されたクエ種苗やカサゴ種苗の生息場として利用されている様子が毎年確認されています。その他、水温の下がっていない秋には、港内で放流されたマダイ幼魚も見られました。

